神経ブロック　説明書

《目的》

あなたが現在痛みを感じている、あるいは現在の痛みの原因となっていると考えられる神経の近くに局所麻酔薬（痛み止め）を注射し、痛みなど症状の軽減を図ります。
ブロックする神経は症状、目的に応じて異なります。

《治療前》

- 初回時は血液検査を行います。
- 治療後に安静時間が必要です。トイレを済ませておいて下さい。

《治療時》

- 皮膚を消毒し、エコーやレントゲンで神経や血管など確認しながら針を神経に近づけます。
- ピリっとひびくことがありますが、動かない様にお気を付け下さい。
- 局所麻酔薬と必要に応じ炎症を抑える薬（少量のステロイド薬など）を注射します。

《治療後》

- 初回時は 20 分間、２回目からは 15 分間、そのまま処置台で休んでいただきます。
- 処置後は寝返りしてもかまいません。また、当日お風呂に入ってもかまいません。
- ご自身での車や自転車の運転はお控え下さい。

《治療後の反応》

- 注射した場所に応じて、手や足がしばらく(時間は人によって異なります)しびれます。

《合併症》合併症はまれですが、主に以下のものがあります。

- 神経穿刺：極まれにしびれや痛みが続くことがあります。
- 血腫：極まれに穿刺部に血腫が生じ、神経を圧迫することで手や足が麻痺することがあります。
- 感染：極まれに膿瘍を生じ、近傍の神経が麻痺することがあります。場合により外科処置が必要となります。
- アレルギー：極まれに薬剤に対するアレルギーが生じることがあります。
  アナフィラキシー症状の場合、直ちに処置を必要とします。

《同意の撤回》神経ブロックの同意を撤回する場合

いったん同意書を提出しても、神経ブロックを行うまで治療を受けることを止めることができます。
その際は、ご遠慮なくその旨をクリニックまでご連絡下さい。

※帰宅後に、もし気分が悪くなったり、痛みやしびれが続いて心配なことがありましたら、
いつでもクリニックまでご相談下さい。

おち内科・ペインクリニック
☎ 089-960-1218